

「売れる高岡産大豆」を生産しましょう！

令和2年産

# 大豆栽培こよみ

高岡市農業協同組合  
富山県高岡農林振興センター

生育ステージ	5月			6月		7月		8月		9月		10月		11月	
	排水対策	石灰散布	種子消毒	播種適期	発芽期	草丈・節数増加期	花芽分化期	開花期	莢伸長期	子実肥大期		成熟期	収穫期		
作業実施チェック	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

スクリーン排水溝 心土砕砕	石灰散布	種子消毒	耕起・砕土 施肥 播種	除草散布	1回目培土	2回目培土	1回目防除	2回目防除	収穫準備	収穫	次年度対策
------------------	------	------	-------------------	------	-------	-------	-------	-------	------	----	-------

**主な作業**

まず早めに排水対策

スプロケットの組合せを確認

播種作業は慌てず、確実に！

播種作業は慌てず、確実に！

播種作業は慌てず、確実に！

1回目 本葉2~3葉  
播種後20~25日

2回目 本葉4~5葉  
播種後30~35日

株元までしっかりと土をかける

大豆に発生する主な病害虫

黒根腐病 紫斑粒 カメムシ類

晴天が3日以上続いたら入水  
(開花期~9月上旬頃まで)

うね間かん水で落葉を防止！

収穫適期内の収穫完了

品種ごとに莢の色や子実水分を確認し、適期に収穫しましょう！

心土砕砕・スクリーン排水溝の設置  
緑肥作物による地力づくり

収穫開始の目安	莢の色	子実水分
	株全体の9割以上が黄色 緑色の莢が無い	えんれいのそら 22%から シュウレイ 20%から

### 土づくり

◎ 大豆は中性に近い土壌を好むので、pHは6.0~6.5を目標に必ず石灰資材を施用しましょう。

◎ 地力の低下と加里を補うため、発酵鶏ふんを施用しましょう。

**【土づくり・基肥量の目安(10a当たり)】**

資材名	側条施肥	全層施肥
苦土石灰	100~200kg	
発酵鶏ふん	100~150kg	
BB084 (10-18-24)	砂質~壤質土 20kg 粘質土 15kg	25kg 20kg

※変跡大豆では、基肥をチッソ成分で、1.5~2kg増量して麦稈の腐熟を促進してください。

### 種子消毒(病害虫防除の徹底)

◎フタスジヒメハムシや茎疫病などの病害虫を防除するために種子消毒を必ず実施しましょう。

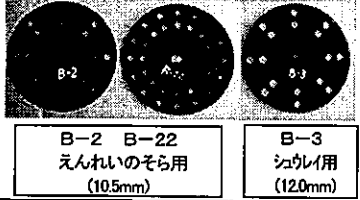
使用薬剤	処理方法
クルーザー-MAXX	乾燥種子1kg当たり原液8ml塗抹
クルーザー-FS30	乾燥種子1kg当たり原液6ml塗抹
キヒガンR-2フロアブル	乾燥種子1kg当たり原液20ml塗抹

↓ 風乾後 ↓ 風乾後

### 播種作業

**【作業のポイント】**

- ◎畦立同時播種の実施
- ◎播種深度は3cm程度に調整
- ◎目皿とスプロケットの組合せを確認
- ◎品種に応じた目皿を使用



「えんれいのそら」において、播種機の調整等を行っても目標とする播種量が投下されない場合は目皿B-22を使用しましょう。

**えんれいのそら播種量の目安(条間80cm)**

【目皿B-22の場合】

播種時期	播種量(kg/10a)	栽植本数(本/m <sup>2</sup> )	スプロケット	
			目皿側	車輪側
5月25日~6月上旬	5.6~6.4	14~16	14	9~10
6月中旬	6.4~7.2	16~18	13	10

【目皿B-2の場合】

播種時期	播種量(kg/10a)	栽植本数(本/m <sup>2</sup> )	スプロケット	
			目皿側	車輪側
5月25日~6月上旬	5.6~6.4	14~16	10~11	13
6月中旬	6.4~7.2	16~18	9~10	14

\*大粒種子の百粒重35.8g、苗立率90%の場合

**シュウレイ播種量の目安(条間80cm)目皿B-3の場合**

播種時期	播種量(kg/10a)	栽植本数(本/m <sup>2</sup> )	スプロケット	
			目皿側	車輪側
5月25日~6月上旬	4.9~6.2	12~15	10~11	11
6月中旬	6.2~7.4	15~18	10	13~14

\*大粒種子の百粒重37.0g、苗立率90%の場合

### 除草剤散布

イヌホオズキ類はラクサー又はエコトップ、帰化アサガオ類はサターナー/ハロが効果的

薬剤名	10a当りの散布量	使用方法	散布時期
ラクサー粒剤	4~6kg	全面土壌散布	播種後出芽前(雑草発生前)
エコトップ乳剤	400~600ml 水100ℓで希釈		
プロールプラス粒剤(*黄色着色注意！)	400~600ml 水70~100ℓで希釈		
サターナー/ハロ粒剤	4~6kg		
トリアノ/サイド粒剤2.5	4~6kg		
大豆バサグラン液剤	100~150ml 水100ℓで希釈	雑草茎葉散布	大豆3葉期~開花期まで 収穫45日前まで
ホルトフロアブル	300~500ml 水100ℓで希釈	畦間雑草茎葉散布	雑草生育初期~6葉期 収穫45日前まで
ラウンドアップマックスロード	200~300ml 水100ℓで希釈	雑草茎葉散布	イネ科雑草3~10葉期 収穫30日前まで
バスタ液剤	200~500ml 水100~150ℓで希釈	畦間処理 株間処理	雑草生育期 収穫前日まで
		雑草生育期(株間処理は大豆5葉期以降)	収穫28日前まで

### 病害虫防除

	薬剤名	10a当り散布量	防除時期	対象病害虫
基本防除	スチオン/バルコート粉剤DL	3kg	8月6~15日頃 (開花後2~4週間頃)	紫斑病+カメムシ類
	Zボルト/トロン粉剤DL	4kg	8月20~29日頃	紫斑病+カメムシ類
随時防除	サイノックス粉剤	4kg	7月末~8月上旬	ウコンノメイガ
	ダントシ粉剤DL	3~4kg	8月中旬頃	フタスジヒメハムシ、マダニノメイガ
	トロン粉剤DL	4kg	多発時	カメムシ、アブラムシ、ナメクジ

**大豆乾燥施設** 南条 Tel:31-4321  
中田 Tel:36-0044

**営農相談先** JA高岡農業センター Tel:63-7331  
高岡農林振興センター Tel:26-8477